

岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2010・7 vol.406

●発行者—学長 小川 彰 ●題字—理事長 大堀 勉



大勢の来場者で賑わう医大祭〈矢巾キャンパス講義実習棟前〉(関連記事：P6)

おもな内容

- 巻頭言 共通教育センター長就任のご挨拶 情報科学科数学分野教授 高橋 敬
- 特集 お口の健康セミナーの紹介
- トピックス ウェルかむ2010「噛んで元気に快適生活」が開催される
- 盛岡市の名水紹介



共通教育センター長 就任のご挨拶

共通教育センター長 高橋 敬
情報科学科数学分野教授

この度、佐藤洋一初代共通教育センター長の後任として、平成22年4月1日付けで共通教育センター長を拝命致しました。身に余る光栄ですが、その責任の重さを考えると正に身の引き締まる思いが致します。浅学菲才の身ではありますが、微力を尽くして職責を全うする所存ですので皆様にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。

共通教育センターはこの4月1日で設置から3年が経過しました。その組織母体である旧教養部は昭和40年に開設されて以来、40年余りにわたって医学部と歯学部の教養教育を担ってきましたが、共通教育センターへの組織改組に伴ってカリキュラムも全面的に再構築されました。旧教養部時代は医・歯両学部で履修科目がほぼシメトリックに準備されていて、基本的に時間割は学部別に組まれておりましたが、共通教育センターに組織改組されるにあたり、6年一貫教育および3学部連携教育という本学の教育理念がより強く投影されたカリキュラムに再構築され、医学部、歯学部に薬学部を加えた3学部合同の準備教育とリベラル・アーツ教育が展開されています。この他に、これまで4半世紀ほどの歴史を刻んできた「公開講座」（現在は「市民公開講座」に改称）、社会貢献や学問的貢献の顕著な方々を招聘しての「三学部合同特別講義」、県内5大学が協力して地域高等教育を推進する「いわて高等教育コンソーシアム」など、地域連携教育や地域社会貢献に関しても佐藤前センター長のリーダー

シップのもとで積極的に関与して参りました。

現在、矢巾キャンパスでは総合移転整備計画第二次事業による建設工事が急ピッチで進められています。工事が完成したあかつきには医・歯学部の4年生までと薬学部6年生までの学生が将来の医療人を目指して研鑽する素晴らしい教育環境が出現するはずで、共通教育センターはすでに3学部合同授業としての選択必修4コース（「人と社会を学ぼう」、「言語感覚を磨こう」、「国際的医療人をめざして」、「医科学への準備」）や問題基盤型学習、医学部・歯学部合同の生物学実習および化学実習など、新たな複数学部合同教育カリキュラムを導入し、実践してきましたが、来年度からは学部の垣根を越えた新たな専門教育の枠組が上級学年にも導入・展開されていく予定です。6年一貫教育という枠組で考えるなら共通教育センターもこの流れに無縁ではできません。医・歯学部の合同授業、専門科目と教養科目の学融化、教養科目の専門化、あるいは専門科目の一年次への移行など、今後取り組むべき課題は少なくありません。医・歯・薬3学部が教育と研究の両面にわたって強く連携協力するシステムが全学的に立ち上がることにより、総合医療系大学としてのさらなる飛躍が期待されます。その一翼を担うべく共通教育センターでは一層の努力を惜しまない覚悟ですので、皆様には今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しく御願申し上げます。

特集

お口の健康セミナーの紹介

歯学部口腔保健育成学講座 小児歯科学分野 教授 田中光郎

平成15年度に始まりました「お口の健康セミナー」は今年度で8年目に入ります。これまでの7年間で延べ2,600名もの方々にご参加いただいております。好評をいただいております。本セミナーの目的は多くの方々の歯科に関する疑問にお答えし、さらに新しい情報の広報を通して歯科医療をより広くまた正しく理解していただくことで、日々の生活のQOLを高め、多くの方々の健康長寿に寄与することであり、その結果として、本学附属病院歯科医療センターにお出でになる患者数の増加を図ろうとするものです。幸いなことに、盛岡市、IBC 岩手放送、岩手ケーブルテレビジョン、めんこいテレビ、NHK 盛岡放送局、エフエム岩手、テレビ岩手、マ・シェリ、盛岡タイムス社、ラヂオもりおかの多くのご後援をいただいております。セミナー開催が近づきますと各メディアで開催情報を流していただいておりますので、それを見たり聴いたりしてセミナーにお出でになる方も多くなっております。毎回のアンケートでも話題にしてほしいテーマのご希望が数多く記載され、継続したセミナーの開催を望む声が毎回のように寄せられております。本セミナーでは歯科医療センター各科、歯科衛生部だけでなく栄養部、看護部、薬剤部にもご参加いただいております。昨年度からは歯学部の基礎講座の先生にもご参加



平成22年度第1回目のセミナー

いただいて、より幅広い視点からお口の健康について知識を得ることのできるセミナーを目指しております。また、出張セミナーも企画しております。これは地域のグループ、サークル、勉強会などでご希望に応じた内容について、講師が個々に出向いてじかにお話しするという企画です。さまざまなお要望にお応え致しますので、そのような機会がありましたらどしどしお申し込みくださるよう、お知り合いの方々にもお伝えくださるようお願い致します。今後も歯学部のみならず、岩手医科大学の多くの方々にご参加いただきながら、より期待に添えるようなセミナーにしていきたいと考えております。どうぞご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成22年度

お口の健康セミナー

あなたの口は健康じゃあ？

入場無料

午前11時～正午

岩手医科大学 歯科医療センター
若手 岩手県内丸19-1

Iwate Medical University

2022年度開催日程

| | | | | |
|-----------|-----------|----------|----------|-----------|
| 第1回 6月5日 | 第2回 7月3日 | 第3回 8月7日 | 第4回 9月4日 | 第5回 10月2日 |
| 第6回 11月6日 | 第7回 12月4日 | 第8回 2月5日 | 第9回 3月5日 | |

※詳細は各回の案内をご覧ください。

平成22年度セミナーの内容

| 開催回 | 演 題 | 講 師 |
|-----|--|--|
| 第1回 | ◎歯科医療センター長挨拶 ①口が乾くということ ②インプラント治療ってどんな治療 | センター長 城 茂治 口腔病理学 武田 泰典 (教授) 口腔インプラント科 鬼原 英道 (講師) |
| 第2回 | ①ブラッシングの疑問 ～こんなところはどこで磨くの～ | 歯科衛生部 高橋 直子 (衛生士) |
| 第3回 | ①赤ちゃんにむし歯をうつさない方法 ②健康長寿はお口から | 小児歯科 田中 光郎 (教授) 補綴科 織田 展輔 (嘱託講師) |
| 第4回 | ①お口の粘膜の病気 ②マウスピースで無呼吸治療 | 口腔外科 古城慎太郎 (助教) いびき歯ざり外来 佐藤 和朗 (嘱託講師) |
| 第5回 | ①薬の基礎知識 ②歯周病菌はどんな菌？ ～そして、からだに与える影響は～ | 薬剤部 煙山 信夫 (薬剤師) 保存科 金澤 智美 (助教) |
| 第6回 | ①歯と食生活 ②前歯が出ているなと思ったら | 栄養部 佐藤 由美 (栄養士) 矯正歯科 飯塚 康之 (助教) |
| 第7回 | ①歯をくいしばってがんばる？ ～歯ざり・くいしばりのウソ、ホント～ ②精神鎮静法を用いた歯科治療 | 補綴科 金村 清孝 (助教) 歯科麻酔科 遠藤 千恵 (助教) |
| 第8回 | ①親知らずのお話 ②もっと知りたい、歯みがき剤 | 口腔外科 飯島 伸 (助教) 予防歯科 阿部 晶子 (嘱託講師) |
| 第9回 | ①歯と糖尿病の関係 ②あたらしいエックス線検査 ～コンビーム CT の特徴について～ | 看護部 佐々木 幸子 (看護師) 歯科放射線科 高橋 徳明 (助教) |

平成21年度 決算

大学の経営は、少子化の進行に伴う18歳人口の減少などにより大学間の競争が激化するなか、入学定員充足が大学の維持に不可欠なものとなっています。

このような環境下において、本学はさらなる教育・研究・医療の活性化と質的向上を目指し、各事業を推進しています。主に着工した施設整備としては、総合移転整備計画第二次事業、7テスラMRI研究施設や放射線治療施設があり、平成22年度内の完成を予定しています。

また、平成22年度からの医学部定員125名への増員に伴う教育用機器などの整備や病院各種機器の整備など一層の充実を図りました。平成21年度消費収支決算では、収支のバランスに努めましたが、2億1,419万円の支出超過額の計上となりました。

1. 消費収支の概要

(1) 消費収入

消費収入の合計額380億916万円は、前年度比4億212万円(1.0%)減少、予算比では2億5,495万円(0.7%)上回りました。

- ① 学生生徒等納付金70億7,730万円は、前年度比4億3,719万円(6.6%)増加しました。主に医学部の20名定員増および薬学部開設3年目に伴う増加と、歯学部の入学定員未充足による減少がありました。
- ② 医療収入273億3,573万円は、前年度比2億9,898万円(1.1%)増加しました。附属病院医科の医療収入は、前年度比2億4,149万円(1.2%)の増加、歯科医療センターは3,764万円(3.8%)の増加、循環器医療センターは4,115万円(1.0%)の減少、花巻温泉病院は6,100万円(4.0%)の増加となりました。
- ③ 補助金合計額は、32億8,779万円の前年度比5億3,060万円(19.2%)増加しました。

私立大学等経常費補助金17億5,813万円は、前年度比1億7,488万円(9.0%)減少、その他の国庫補助金では、私立学校施設整備費補助金3億4,540万円、私立大学等研究設備整備費等補助金1億9,387万円、大学改革推進等補助金1億931万円、医師臨床研修費補助金4,636万円、歯科医師臨床研修費補助金5,634万円等で合計7億5,233万円でした。また、地方公共団体補助金は、高度救命救急センター運営費補助金2億5,879万円等で合計7億7,633万円となり、前年度比1億2,391万円(19.0%)増加しました。また、その他学術振興資金100万円がありました。

(2) 消費支出

消費支出の合計額382億2,335万円は、前年度比7億8,579万円(2.1%)増加、予算比では2億3,087万円(0.6%)下回りました。

- ① 人件費189億8,290万円は、前年度比1億7,705万円(0.9%)増加しました。給与、賞与、所定福利費の合計174億1,433万円は、前年度比8,477万円(0.5%)減少し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計15億1,464万円は、前年度比2億6,181万円(20.9%)増

加しました。

- ② 医療経費106億3,340万円は、前年度比4億5,677万円(4.5%)増加しました。医薬品費は、前年度比3億779万円(6.2%)の増加、医療材料費は1億5,438万円(3.1%)の増加、給食材料費は539万円(2.4%)減少しました。医療収入に対する医療経費割合は38.9%となり、前年度の37.6%を1.3%上回りました。
- ③ 光熱水費は、重油料2億847万円、ガス料1,334万円、電気料3億8,357万円、水道料2億1,569万円、合計8億2,107万円となり前年度比9,348万円(10.2%)減少しました。
- ④ 修繕費は、施設修繕費2億6,566万円、機器備品修繕費1億3,624万円、合計4億190万円となり前年度比5,960万円(12.9%)減少しました。
- ⑤ 消耗品費8億8,590万円は、前年度比3,076万円(3.6%)増加しました。
- ⑥ 印刷製本費1億7,522万円は、前年度比1,742万円(1.0%)増加しました。
- ⑦ 業務委託費21億9,495万円は、前年度比1億3,403万円(6.5%)増加しました。部門別では、附属病院医科10億595万円、附属病院歯科8,819万円、循環器医療センター2億8,863万円、花巻温泉病院1億4,193万円、その他6億7,025万円でした。
- ⑧ 公租公課8,516万円は、消費税4,239万円、法人税1,945万円、事業税461万円、固定資産税・都市計画税1,202万円等でした。
- ⑨ 学生福利費3,099万円は、学友会館諸経費1,239万円、その他健康診断経費・予防接種経費等でした。
- ⑩ 職員福利費1億1,866万円は、健康診断諸経費1,806万円、保育園運営管理委託料1,595万円等でした。
- ⑪ 減価償却額23億6,259万円は、前年度より1億6,219万円増加しました。
- ⑫ 資産処分差額1億4,084万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等でした。

2. 資本収支の概要

(1) 資産の部

- ① 施設関係17億3,981万円は、建設仮勘定17億2,134万円等でした。
- ② 設備関係22億8,669万円は、教育用機器備品22億870万円等でした。
- ③ 施設拡充引当特定資産として32億円を積み立てました。
- ④ 貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料1億6,864万円、歯科貴金属810万円、合計1億7,674万円でした。

(2) 負債、基本金、消費収支差額の部

- ① 前受金残高15億4,450万円は、平成22年度入学生

の学生生徒等納付金等でした。

- ② 預り金残高5億790万円は、源泉所得税4,650万円、県市町村民税9,411万円、私学共済掛金9,421万円等でした。
- ③ 基本金は38億2,129万円の組入れをし、742億9,119万円となりました。
- ④ 消費支出超過額2億1,419万円と前年度繰越消費支出超過額97億9,391万円を合計した翌年度繰越消費支出超過額は、100億810万円となりました。
- ⑤ 自己資金（基本金+翌年度繰越消費支出超過額）は、前年度より36億710万円増加し642億8,309万円となりました。

平成21年度 消費収支計算書

(単位：千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-------------|----------|------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金 | 7,077,296 | 人件費 | 18,982,898 |
| 手数料 | 172,844 | 医療経費 | 10,633,397 |
| 医療収入 | 27,335,736 | 消耗品費 | 885,903 |
| 寄付金 | 2,227,512 | 光熱水費 | 821,071 |
| 補助金 | 3,287,797 | 旅費 | 210,437 |
| 資産運用収入 | 281,075 | 修繕費 | 401,903 |
| 資産売却収入 | 8,920 | 業務委託費 | 2,194,953 |
| 事業収入 | 656,074 | 減価償却額 | 2,362,588 |
| 雑収入 | 783,194 | 資産処分差額 | 140,843 |
| 帰属収入合計 | 41,830,448 | その他諸経費 | 1,589,352 |
| 基本金組入額合計 | △ 3,821,289 | | |
| 消費収入の部合計 | 38,009,159 | | |
| 当年度消費支出超過額 | 214,186 | 消費支出の部合計 | 38,223,345 |

平成21年度 資金収支計算書

(単位：千円)

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|------------|-------------|-----------|-------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 学生生徒等納付金収入 | 7,077,296 | 人件費支出 | 19,023,107 |
| 手数料収入 | 172,844 | 諸経費支出 | 16,697,720 |
| 寄付金収入 | 2,102,021 | 奨学資金返済支出 | 11,669 |
| 補助金収入 | 3,287,797 | 施設関係支出 | 1,739,809 |
| 資産運用収入 | 281,075 | 設備関係支出 | 2,286,687 |
| 資産売却収入 | 2,000,000 | 資産運用支出 | 3,200,855 |
| 事業収入 | 656,074 | その他の支出 | 2,765,604 |
| 医療収入 | 27,335,736 | 資金支出調整勘定 | △ 2,462,077 |
| 雑収入 | 783,194 | 次年度繰越支払資金 | 15,216,865 |
| 前受金収入 | 1,446,256 | | |
| その他の収入 | 7,207,681 | | |
| 資金収入調整勘定 | △ 7,766,399 | | |
| 前年度繰越支払資金 | 13,896,664 | | |
| 収入の部合計 | 58,480,239 | 支出の部合計 | 58,480,239 |

貸借対照表

平成22年3月31日

(単位：千円)

| 資産の部 | | 負債の部 | |
|----------|------------|-------------------|--------------|
| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
| 固定資産 | 52,966,730 | 固定負債 | 5,877,848 |
| 有形固定資産 | 40,858,100 | 流動負債 | 4,396,023 |
| その他の固定資産 | 12,108,630 | 負債の部合計 | 10,273,871 |
| 流動資産 | 21,590,227 | 基本金 | 74,291,185 |
| | | 翌年度繰越消費支出超過額 | △ 10,008,099 |
| 資産の部合計 | 74,556,957 | 負債・基本金・消費収支差額の部合計 | 74,556,957 |

ライオンズクラブから岩手医大眼球銀行に寄付金をいただきました

6月2日(水)、ライオンズクラブ国際協会332-B地区の地区ガバナー種市一二様他1名が来学し、本学眼球銀行(総裁:小川彰学長)に1,823,088円を寄付され、小川学長から感謝状が贈呈されました。

同協会から毎年いただいている寄付金は、アイバンクの啓発活動や角膜移植に使用される角膜摘出の費用などに充てられ、一人でも多くの方が光を取り戻すために活用されています。

種市ガバナーからは「角膜移植発祥の地にこれからも支援活動を続けていきたい」と温かいお言葉もいただいています。

ここにライオンズクラブ国際協会様には、心から御礼申し上げます。



ウェルカム2010「噛んで元気に快適生活」が催される



キャラクターの石膏像を夢中になって磨く来場者

6月4日(金)に本学附属病院歯科医療センターで、歯の衛生週間にちなんだ「ウェルカム2010 噛んで元気に快適生活」が行われ、子供から大人まで総勢407名が訪れる賑わいとなりました。

当日は、お口の健康・栄養に関する「歯科相談コーナー」をはじめ、咀嚼力の判定をする「体験コーナー」、歯を健康に保つ食品を試食できる「試食コーナー」、各診療科・歯科衛生士によるパネル展示や歯科技工の展示と説明が行なわれる「情報提供コーナー」など様々な企画が用意されました。

来場した市民らは子供から大人まで楽しみながら歯の健康についての知識を深めている様子でした。

医大祭「五輪祭～スタートライン～」が催される

6月19日(土)と20日(日)の2日間、本学矢巾キャンパスにて4年に一度の医大祭が開催されました。今年のメインテーマには医・歯・薬の各学部と教員、地域住民の方々との繋がりを5つの輪に表現した「五輪祭～スタートライン～」が掲げられ、平成19年の薬学部新設以来初めての医大祭として、歴史に新たな1ページを刻むものとなりました。



学生によるさんさ踊り

開催中は、各学部の学術展示や模擬実験が行なわれ、また、学生がさんさ踊りやパフォーマンス、ダンスでステージを盛り上げたほか、お笑いイベントやライブもあり、盛りだくさんの内容となりました。20日には救急医学講座の遠藤重厚教授による公開講座も行なわれ、訪れた学生や市民の方々は興味深げに耳を傾けていました。



公開講座「救急医療の現状と課題」

解剖体慰霊祭が行われる

第73回解剖体慰霊祭が、6月26日(土)午後1時30分から本学講堂（歯学部4階）において、小川学長をはじめとする本学教職員・学生とご遺族が参列して厳かに執り行われました。慰霊祭は80霊のご尊名奉読に続いて、小川学長による祭詞、学生を代表して医学部4年の土田宏大さんから追悼と慰霊のことばが捧げられました。続いて参列者全員で医学・歯学のために貢献された方々に対して感謝するとともに霊の安らかならんことを祈り献花いたしました。

慰霊祭終了後は、生前よりご自分の意思で献体登録され、成願された故人への文部科学大臣感謝状伝達式が行われ、ご遺族に感謝状とご遺骨が返還されました。



永年勤続者表彰が行われる

平成22年度の永年勤続者表彰式が、6月24日(木)午後4時30分から本学講堂（歯学部4階）において行われました。本年度の表彰者は、勤続30年の方が47名、勤続20年の方が22名、合計69名でした。

式典では、大堀理事長より代表者（勤続30年：井上和子さん、勤続20年：中村恵美子さん）へ表彰状と記念品が授与され、感謝の詞が述べられました。これを受けて酒井明夫さんが謝辞を述べ、式典終了後に壇上にて記念撮影を行いました。その後、会場を記念館8階に移して祝賀パーティーが催され、勤続のお祝いをするとともに今後ますますのご活躍を祈念し、盛会裡のうちに終了となりました。

永年勤続30年

菅野純子 菅野純子
阿部幸子 阿部幸子
伊藤律子 伊藤律子
井上波子 井上波子
浦村千珠 浦村千珠
奥山月文 奥山月文
小笠春日 小笠春日
菅野真茂 菅野真茂

菅野純子 菅野純子
野地早幸 野地早幸
池田幸子 池田幸子
北野千藤 北野千藤
工藤井木 工藤井木
齋藤井木 齋藤井木
酒佐澤野 酒佐澤野
澤々野村 澤々野村

菅野純子 菅野純子
苗子秋夫 苗子秋夫
早崎雄夫 早崎雄夫
早崎つづえ 早崎つづえ
早崎泉正 早崎泉正

菅野純子 菅野純子
澤山藤田 澤山藤田
外高柳田 外高柳田
高橋田中 高橋田中
高柳田中 高柳田中
武館田千 武館田千

菅野純子 菅野純子
実子仁治 実子仁治
範益茂賢 範益茂賢
範益泰晶 範益泰晶
範益美津子 範益美津子
範益多恵子 範益多恵子

菅野純子 菅野純子
塚中藤古 塚中藤古
照中能日 照中能日
中登藤古 中登藤古
能登古細 能登古細
藤古細曲 藤古細曲
古細曲守 古細曲守

菅野純子 菅野純子
かや子 かや子
泰立美智子 泰立美智子
久美子春俊 久美子春俊
千良友治 千良友治
良恭友加代子 良恭友加代子
友治加代子 友治加代子

菅野純子 菅野純子
八重樫章司 八重樫章司
築場悦正 築場悦正
横澤政裕 横澤政裕
吉田裕美子 吉田裕美子
計47名

永年勤続20年

青木祥子 青木祥子
木塚康之 木塚康之

井上原川 井上原川
及木黒古 及木黒古
小昆佐々木 小昆佐々木
佐々木藤 佐々木藤

正由美子 正由美子
智香子美勉 智香子美勉
智明徳子 智明徳子
美里保美 美里保美
美仁保美 美仁保美

城世高立 城世高立
良館花屋 良館花屋
中村西松 中村西松
村館本 村館本
計22名
(所属・敬称略)



蛇口をひねっても……

薬学部 創剤学講座 助教 宮下 宙子

今まで生活してきた中で、「これはとても貴重な経験だった!」と思えることがいくつかあります。蛇口をひねると必ずしも水あるいはお湯が出てくるとは限らないという経験もそのひとつです。

大学院生の時、研究のためフィリピンに行く機会が何度かありました。いつもホテルに宿泊していたのですが、ある時ホテルの予約がとれず知人のマンションに5泊程することになりました。「水を温めたかったら使ってね」と新しいバケツと水の中に入れて使うヒーターを置いて知人は出ていきました。最初はいつ、何のために使うのか分かりませんでした。シャワーを使い始めて数分で水しか出てこなくなりその意味を理解しました。一人で動揺しながらバケツに水を入れ、ヒーターを作動させました。徐々に水は温かくなり、ひと安心でしたがバケツ一杯分のお湯はすぐになくなり何度も温めることとなりました。やっと適温になったお湯の入っているバケツをひっくり返したり、

お湯になるのを待てずに水のまま使ったりと悪戦苦闘しながらのシャワーでした。でも最終日になると使用するお湯の最適温度や配分量が感覚で分かるようになりスムーズにシャワーを浴びることができました。

それまで私にとって蛇口をひねるとお湯がでてくることは当たり前で日本ではお湯を出しっぱなしにしていました。しかし、フィリピンで必ずしもそうでないということを経験し、水やお湯の大切さを実感しました。今ではいつお湯が出なくなるか分からないという恐怖感を持ちながら、毎日大切にお湯を使っています。



知人のマンションの部屋

理 事 会 報 告

■ 5月定例（5月24日開催）

1. 平成21年度事業報告、決算及び監査報告について
2. 副学長の選任について
祖父江 憲治（現 大阪大学大学院教授）
（任期 平成23年4月1日～平成25年3月31日まで）
3. 岩手医科大学医療専門学校への名称変更及び組織統合について
平成23年4月からの専門学校統合に伴い、寄附行為・専門学校学則を変更

4. 薬学部育英奨学金規程の一部改正について
奨学金の給付を受けることのできる資格を、明確な表現に改めるに伴う文言修正
5. 任期満了に伴う監事の選任について
<再任>
佐々木 隆 夫
飛 澤 重 嘉
（任期 平成22年8月1日～平成24年7月31日）

学位授与

●医学研究科（博士）

| 授与番号 | 氏名 | 博士論文名 | 授与年月日 |
|---------|-------|---|-----------|
| 甲第1495号 | 館道芳徳 | ヒト活性型肝星細胞におけるアンギオテンシンⅡ受容体と上皮成長因子受容体間のクロストーク | 平成22年6月1日 |
| 甲第1496号 | 菅野将史 | Histone deacetylase 6 の発現抑制が肝細胞癌株の浸潤・転移能に与える影響 | 〃 |
| 甲第1497号 | 小飯塚仁彦 | 腺管分離法を用いた非化生腺管・腸上皮化生腺管・癌腺管のメチル化解析 | 〃 |
| 甲第1498号 | 常盤傑 | MRIによる膀胱癌の化学療法の効果判定の検討 | 〃 |
| 甲第1499号 | 高橋祐司 | 冠動脈疾患の単球での Toll 様受容体 4 および microRNA146a/b の発現について：レニン・アンギオテンシン系阻害薬と HMG-CoA 還元酵素阻害薬を用いたランダム化比較試験による検討 | 〃 |
| 甲第1500号 | 木村琢巳 | LDL コレステロール/HDL コレステロール比は、脂質成分に富んだ冠動脈プラークを予測し得る：インテグレイテッドバックスキャッター血管内超音波を用いた研究 | 〃 |
| 甲第1501号 | 村井正俊 | 抗ミューラー管ホルモンと 3D カラードップラー：体外受精における卵巢機能の評価 | 〃 |
| 甲第1502号 | 肥田龍彦 | 320列マルチスライス CT による冠動脈ステント内再狭窄の評価 | 〃 |
| 甲第1503号 | 菅原敦 | 遅延相軟骨造影 MRI 法および T2 マッピング法を用いた腰椎椎間板変性の定量的評価 | 〃 |
| 甲第1504号 | 水谷友美 | クローン病に対するインフリキシマブ導入時期からみた治療効果と炎症性サイトカイン動態との関連 | 〃 |
| 甲第1505号 | 小野寺沙織 | 過敏性腸症候群における $\beta 3$ -adrenoceptor および Cholinergic receptor muscarinic 3 遺伝子多型との関係 | 〃 |
| 甲第1506号 | 石田和茂 | 細胞分子生物学的定量アッセイを用いた承認済抗癌剤反応特性の解析 | 〃 |
| 甲第1507号 | 島谷剛美 | 特発性側弯症における患者アウトカム評価の検討 | 〃 |
| 甲第1508号 | 無江良晴 | 大腸腺腫内癌における腺腫から癌への移行に関する細胞周期関連蛋白発現と粘液形質の変化 | 〃 |
| 甲第1509号 | 富田一光 | クローン病における TNF- α および Fc γ レセプター遺伝子多型とインフリキシマブの有効性に関する検討 | 〃 |
| 甲第1510号 | 川村竜平 | 腱鞘再建後の腱・腱鞘間滑動抵抗に対するヒアルロン酸の影響 | 〃 |
| 甲第1511号 | 塩井義裕 | 非腫瘍性胆嚢における分離上皮のメチル化解析 | 〃 |
| 甲第1512号 | 長澤真奈 | 加齢黄斑変性における酸化ストレスマーカーの検索 | 〃 |
| 甲第1513号 | 桂永行 | 高解像度磁気共鳴画像を用いた穿通枝領域梗塞における中大脳動脈・脳低動脈の動脈硬化性プラークの検出：磁気共鳴血管造影との比較 | 〃 |
| 甲第1514号 | 横山大輔 | ロドプシントランスジェニックウサギにおける薬剤の硝子体内注入による多局所網膜電図の検討 | 〃 |
| 乙第714号 | 前田文彦 | イミキモドの日光角化症に対する抗腫瘍効果発現機序の解析 | 〃 |
| 乙第715号 | 高橋智弘 | 血漿 B 型ナトリウム利尿ペプチド値は将来の脳梗塞発症の危険を予測する：地域住民対象の縦断研究 | 〃 |

●歯学研究科（博士）

| 授与番号 | 氏名 | 博士論文名 | 授与年月日 |
|--------|-----|-------------------------------------|-----------|
| 甲第259号 | 松本誠 | 免疫組織化学による口腔扁平苔癬の上皮におけるマイコプラズマの局在の検討 | 平成22年6月1日 |

— 大学報原稿募集 —

岩手医科大学報は、教職員皆様のコミュニケーションの場として発行を重ねていますが、さらなる教職員同士の“活発な意見交換の場”として原稿を募集しています。

岩手医科大学に対する意見や提言、日々の業務で感じること、随想、作品（写真、俳句、絵画など）、サークル紹介、学報への感想など、様々な内容をお寄せください。（原稿字数 500字～1,000字程度）

また、特集してほしいテーマや、各コーナー（「表彰の栄誉」「トピックス」「教職員レター」など）への掲載依頼などもお待ちしております。事務局までご連絡ください。

連絡先 大学報事務局（企画部企画課）
内線7023 kikaku@j.iwate-med.ac.jp

第75回大学報編集委員会

日時：平成22年7月15日（木）午後4時～午後5時

出席委員：大堀委員長、山崎、影山、齋野、藤本、小山、佐藤、千田、佐々木（志）、佐々木（さ）、及川、千葉、佐々木（忠）、中島、岩動、武藤、野里

欠席委員：松政、佐々木（光）

岩手医科大学報 第406号

発行年月日 平成22年7月28日

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画課

盛岡市内丸19 - 1

TEL 019-651-5111（内線7022）

FAX 019-624-1231

E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷（株）盛岡市本町通2 - 8 - 7

TEL 019-623-4256

E-mail:office@kahoku-ipm.jp

内丸キャンパス周辺の名水紹介

北上川、中津川、雫石川の合流点にある「杜と水の都」盛岡は多くの清水に恵まれており、昔から人々に親しまれてきました。

本号では、内丸キャンパスから気軽に行くことができる市内の名水スポットをご紹介します。

夏本番を迎えるこれからの季節に「癒し」と「冷やし」を求めて、足を運んで見てはいかがでしょうか？

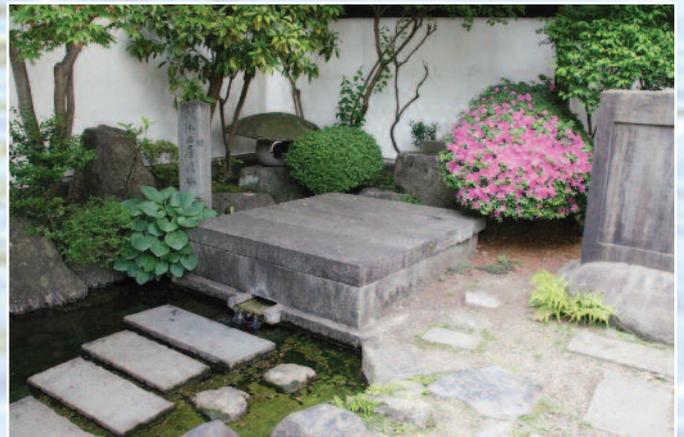
〈写真撮影：画像情報センター〉



① 青龍水 〈せいりゅうすい〉



② 大慈清水 〈だいにじしみず〉



③ 御田屋清水 〈おたやししみず〉



④ 賢治清水 〈けんじしみず〉



アクセス MAP

編集後記

今月の表紙は、矢巾キャンパス初の医大祭を掲載させていただきました。活気あふれる様子からは、先日行なわれたサッカーW杯での岡田 JAPAN の活躍と共通するものを感じます。

大学報を通して、全職員がネットワークをさらに広げていけるよう編集委員一同、常にフレッシュで熱い大学報作りをめざしていきたいと思っております。

(編集委員 及川 弘美)